

がん薬物療法計画指示書（乳 癌）

主治医（指示医） _____

指示日 年 月 日

レジメン名称 AC 療法

【1クールの日数 21日】

1. 治療予定期間 年 月 日 ~ 年 月 日

・実施クール () クール目 / 4 クール

2. 患者情報 診断名 (乳癌 (術前または術後補助化学療法：転移・再発))

身長 _____ cm 体重 _____ Kg 体表面積 _____ m²
Ccr _____ mL/min T-Bil _____ mg/dL

3. 使用薬剤・投与量

薬剤名	用量	実投与量 (mg)	投与方法	輸液
①ドキソルビシン (10mg : 50mg)	60mg/m ²	mg	d. i. v.	生食 100mL
②注射用エンドキサン (100mg : 500mg)	600mg/m ²	mg	d. i. v.	生食 250mL

ただし、ドキソルビシンの総投与量は 450mg/m² 以下とする。

4. 投与レジメン

◎内服処方（制吐剤）： Day 2 (/) ~ Day 4 (/)

Rp. 1) デカドロン錠 (0.5mg) 16 錠 / 2× 朝食後、夕食後 3 日分

投与日	投与時間	薬剤	指示受け 確認	実施	Dr. 確認
Day 1 (/)	30min	生食 250mL + プロイメンド 150mg div.			
	30min	生食 100mL + ハ'ロノセトロン 0.75mg + テ'キサート 9.9mg div.			
	30min	生食 100mL + ドキソルビシン _____ mg div.			
	30min	生食 250mL + 注射用エンドキサン _____ mg div.			
CBC・生化学検査は投与日の (前日・当日朝)					

※ ドキソルビシンは血管外漏出に特に注意。

※ ドキソルビシン：心機能異常またはその既往歴のある患者には禁忌。生涯投与量 450mg/m² までとする。

※ ドキソルビシン：肝機能障害のある場合には投与量の減量や中止を考慮する。また尿が赤くなることがある。